

## 令和3年度 第1回富里市行政改革推進審議会 会議録

日 時	令和4年3月10日～令和4年3月18日まで
場 所	書面開催
出席委員	寒郡茂樹会長、大久保敏久副会長、小川道雄委員、 角野久寿雄委員、町田弘委員、本橋幸子委員
事務局	—
傍聴者	—

〔会議次第〕 書面開催

### 1 議 題

- (1) 富里市第3次行政改革大綱改革プラン（令和2年度改訂版）の実績  
（令和2年度）について【資料1】

※令和2年度に改訂した大綱及び改革プランの令和2年度実績を取りまとめた資料を、委員に確認いただきご意見をいただきました。

〔委員からの意見〕

別紙のとおり

行政改革推進審議会委員からの御意見

ページ	項目	御意見
4～5	市民サービスの向上	<p>ホームページの翻訳言語を5言語（追加）にしたのはとても良かったと思う。</p> <p>携帯電話のスマートフォンへの移行を見据えて、使いやすいアプリ開発による利便性の追求と、利用者の拡充を図る観点から、特に高齢者を対象とした「仮称：スマートフォンアプリの使い方教室」等を市民向けに開催することで、アプリ利用者の拡充と促進に繋げる施策を実施し、市民満足度をあげていただきたい。</p>
6	要望・提案・意見等の情報の管理	<p>「市政へのご意見・ご提案」及び「市長への手紙」に関しては、市民から寄せられた意見とそれに対する回答（一部だけでも）を、何らかの媒体（仮称：市長掲示板やHP・広報誌等）を使って市民にフィードバック開示していただくと、より多くの市民の声が集まるようになり、市政運営と市民ニーズの把握に資すると思う。</p>
8～9	行政情報の積極的な提供	<p>HPの掲載方法については、大分改善されてきたと思うが、更に検索しやすい工夫を進めていただきたい。（例えば、各課の会議や講習会、講演会などをまとめる形で、仮称「今月の会議・講演会予定」みたいな形で一覧表にまとめる形で、市のHPトップに掲載することにより、そこをクリックすれば旬な情報が一目瞭然に全てが解るみたいな…）</p> <p>市の公式LINEの情報発信については更なる拡充と充実を希望する。広報紙をA4サイズに変更したことで内容も含めて大変読みやすくなったと思う。</p> <p>富里の農業の未来への設計図がわからない。</p> <p>議会広報紙に関して、七栄郵便局に配架されていることは承知していたが、コンビニエンスストアへの配架が行われていることは知らなかった。この事をもっと広く周知して頂きたい。</p>
11	RPA等による業務効率化	<p>全国的な人口減少が進み、税収減が予測される。行政の思い切った効率化は、喫緊の課題である。AI・RPAの導入は、積極的に行ってもらいたい。情報収集に止まっていたのでは心もとない。財政的に単独での導入は難しい。隣接市や空港周辺の自治体にも呼びかけ、広域の力で取り組んでほしい。</p>
12	協働のまちづくり推進計画の見直し	<p>コロナ禍のあおりで、市民との触れ合いの場が少なくなり、協働のまちづくりの活力が元気をなくしている。富里市の未来は、協働のまちづくりの成否にかかっている。活動の拠点のサポートセンターが観光ブースの開設で移動した市民活動推進課に半ば占拠された状態が続いている。早く元の形に戻した方がよい。</p>
13	協働のまちづくり推進の環境整備	<p>「市民活動サポートセンター機能の充実」事業について行ったアンケート調査の結果が十分に活用されている様子が残念ながら見えない。</p> <p>アンケートに協力いただいた方々を含めて、アンケート結果をフィードバックして、サポートセンターの広報誌「とみさぼ」やサポートセンターの「Facebook」を活用して「結果の見える化」をお願いしたい。</p>
15	地域活動の支援	<p>市民活動支援補助金は、コロナ禍という特別な事情もあり、利用者が少ないように見受けられるが、今後のコロナが終息に向かい、市民や市民活動団体が新たに活動を開始した時に十分対応して頂けるような準備をお願いしたい。</p>
16	パブリックコメント制度の充実	<p>紙面にパブリックコメントの周知を図ったとあるが、具体的にどのような周知方法だったのかを具体的に示して頂きたい。</p> <p>市民からの意見を増やす方策として、各課が実施するパブリックコメントの内容に応じて、市民活動推進課やサポートセンターを通じて、関連する市民活動団体等に対して、個別にパブリックコメントの依頼をすることで、広く市民の意見を吸い上げ、市民参画の機会の拡大につながるのではないかと思う。</p>
16	公募による委員等の拡大	<p>市民参画のまちづくりを進めていくには、各審議会の委員の中でも、公募委員の役割が大きい。行政と市民にとって大切な審議会だが、それぞれ委員の報酬等の予算にしばられ、開催回数が始めから限られていて、深みある議論が期待できない。これでは、単に行政手続きの一環に終始して市の発展につながらない。</p>
17	市民参加機会の拡大	<p>「まちかど市長室」は、五十嵐市長が直接市民と話し合う場として、市民から高い評価を得ている。コロナ禍で思うように開けなかったが、回数だけでなく、開催場所、参加者数、市民の反応・声も実施内容に記してほしかった。</p>

行政改革推進審議会委員からの御意見

ページ	項目	御意見
17	市民参加機会の拡大	「まちかど市長室」の取り組みは高く評価している。コロナ禍という制約で実施回数が少ないかもしれないが、今後は通常の職務に支障のない範囲で、できるだけ市民の要望に寄り添う努力を続けていただきたい。
19	徴収率の比較	国民健康保険税の徴収率が他と比べて低いのは何か原因があるのか？どのように考えているのか？ 国民健康保険税の徴収率が低い。コロナの影響もあるが、工夫が必要。
20	企業誘致の推進	酒々井インター周辺活性化については、もっとスピードアップしてほしい。
22	公有財産の有効活用	プロジェクトを設置し、研究や民間活用の検討を行ったとあるが、具体的にどのようなものか？できれば地元住民や一般市民を交えた委員会のようなものを立ち上げてほしい。 旧保健センター、旧洗心小学校跡等については、利用しやすいものに種々参考にして検討してほしい。 旧保健センターと旧洗心小学校跡地利用に関して、検討プロジェクトを立ち上げて検討している事は承知していますが、なかなか具体的な検討内容や計画が市民サイドに見えてこない。使われない建物は日々劣化していくこと考えると、一日でも早い計画推進が求められると考える。一日も早く具体的なタイムスケジュールを立てて頂き、計画の具体化をお願いしたい。
23～26	公共施設の管理経費の節減	公民館のところに電気代の記載がないが…漏れか？ 光熱・水道費については、節約のため大変努力されたと理解する。 コロナ禍の中で社会体育館の開放を続けたのは英断だった。
29	新たな財源の確保	広報紙・ホームページの有料広告と、図書館雑誌のスポンサー制度に関して、思うような結果が得られていない現状を踏まえて、商工会や日大芸術学部・千葉大学の関谷先生及び清水先生・協働のまちづくり委員会等の合同の集まりを開催して、アイデアや助言を集めることで財源確保と収益の増加に引き続き取り組んでいただきたい。
33	健全化判断比率等	R2年度の経常収支比率が3.2ポイント改善したのは喜ばしいが、これからも収入改善の対策はますます必要である。
39	公共工事のコスト縮減	公共工事のコスト削減が、公共工事の減少によりしにくくなっている事は承知したが、引き続き、建設発生土の工事間流用・同期工事等によるコスト削減に努めていただきたい。
40	広域連携	旧岩崎家末廣別邸や富里市のPRに動画配信などの手法はどうだ。
43	給与の適正化	どの自治体も職員給与の財源確保と適正配分に苦慮し、頭を痛めている。 実施内容に記された通り一遍の文言では、担当者の労苦が伝わってこない。市民の理解と共感を得るためにも、もっと大変さが伝わる生の声を記してはどうか。今のところ市職員から給与について不満の声が強く上がっていない。市民としては、まずもって妥当な給与制度がしかれているものと理解している。 諸施策の財源不足から、市長・副市長・教育長が給与と期末手当を減額したとあるが、決して健全な財政運営ではない。具体的にいくらを減額したのか、市民に示すべきと考える。やりくりの大変さを課題に吹聴しては行き過ぎだが、市民が市の財政事情を知るためにも、ある程度正直に吐露してはどうか。
44	研修の充実	職員研修に努力され、未来への布石は大切で、これからも続けてほしい。 民間企業をはじめ、あらゆる分野で人材の育成が叫ばれている昨今、富里市の職員の皆様は、富里市の頭脳であり富里市の将来を託す政策集団だと認識しているので、全国規模の研修会への派遣や、民間企業への派遣は引き続き推進するとともに、新たに大学の専門分野の講座への参加や、民間のシンクタンクが主催する研修会等へも、職員が積極的に参加できる体制を推進していただきたい。人は石垣、人は城。という言葉を大切にしていきたいと思う。 民間企業への研修を充実させてほしい。民間企業の経営面でのノウハウ、また接遇について学んでもらいたい。職員の業務の効率化を図るのはもちろん良いことだが、それに集中して業務負担にならないよう配慮することも忘れないでほしい。モチベーションの低下、心身の疲弊につながらないように注視して行ってほしい。